

特殊清掃における MA-T 脱臭効果の実証（要約版）

一般社団法人日本 MA-T 工業会

特殊清掃において、脱臭のために散布される薬剤、すなわち、より高いレベルで脱臭効果が期待される除菌・消臭剤に着目し、近年、新たに開発・実用化された MA-T の脱臭効果にフォーカスする。より高いレベルでの脱臭効果が期待される使用環境として特殊清掃を対象に取りあげ、そこで問題となる死臭に対する MA-T の脱臭効果について、試験・評価を実施した。

本実証においては、特殊清掃の例として、遺体安置場における脱臭も取りあげる。遺体安置場は、死亡者の部屋と同様に遺体を取り扱われる場所であり、死臭による影響を受けて死亡者の部屋と同様の特殊な清掃、特に脱臭が求められる。脱臭効果は、各試験場所において MA-T を適用した後の臭気強度（臭気判定士による臭気強度の判定：感応試験）とする。試験場所は

①孤独死があった部屋

②斎場の遺体安置場

である。試験対象となる液剤は

薬剤①MA-T 濃度：10000 ppm（希釈して濃度 100～800 ppm で使用）

薬剤②MA-T 濃度：800 ppm

を用いた。

得られた試験結果の概要は、以下の通りである。試験場所①では、死臭を含む気体試料について、MA-T を適用する前のおいの臭気強度は約3であった。これに対し、気体試料中の MA-T 濃度が 600ppm 及び 800ppm となるように MA-T を適用することにより、臭気強度は0（無臭）に低下することがわかった。

試験場所②では、死臭について薬剤②800 ppm の適用により、その強度が低下し、においが緩和されることがわかった。

以上の検証の結果から、MA-T は特殊清掃、および遺体安置場において、有効な脱臭効果を示すことが確認された。

以上